

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-2		事業名	緊急貯水槽等整備事業
担当	水道局給水部計画課 佐藤 TEL:211-7052			
全体計画				
事業内容	地震等の災害時における応急給水拠点として、災害発生初期から3日間の市民の生命維持に必要な最小限の飲料水を確保することを目的とし、避難場所等に貯留容量100m <sup>3</sup> 規模の貯水槽5箇所の整備と、貯留容量750m <sup>3</sup> の緊急時給水管路1箇所の整備を行うものである。		＜年度別の事業内容＞	
	《緊急貯水槽》 ・貯水量 :100m <sup>3</sup> /箇所 ・構造、規模等:ダクタイル鋳鉄管(口径2,600mm×19m)  《緊急時給水管路》 ・貯水量 :750m <sup>3</sup> ・構造、規模等:ダクタイル鋳鉄管(口径300～700mm 延長2,370m)	《緊急貯水槽》 ・平成19年度 :2箇所(厚別公園、明日風公園) ・平成20年度 :1箇所(新陵小学校) ・平成21年度 :2箇所(北郷小学校、札幌東公園)	《緊急時給水管路》 ・平成19年度 :施工延長1,250m(中央区南8西16～南17西16) ・平成20年度 :施工延長1,120m(中央区南4西16～南8西16)	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	《緊急貯水槽》 ・厚別公園 1カ所新設(厚別区上野幌3条1丁目) ・明日風公園 1カ所新設(手稲区明日風2丁目) ※曙西公園から明日風公園に名称変更  《緊急時給水管路》 ・施工延長 1,343m	《緊急貯水槽》 ・新陵小学校 1カ所新設(手稲区新発寒6条6丁目)  《緊急時給水管路》 ・施工延長 1,123m		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	《緊急貯水槽》 ・北郷小学校 1カ所新設(白石区北郷4条5丁目) ・札幌東公園 1カ所新設(東区東苗穂14条4丁目)  《緊急時給水管路》 ・遮断弁操作盤設置	(この欄は斜線が入ります)		
事業内容				
・				
量				
・				
場				
・				
所				
・				
規模				
・				
件数				
等				

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-2			事業名	緊急貯水槽等整備事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
緊急貯水槽の設置数(累計)	28カ所	30カ所	31カ所	33カ所	/	33カ所 (21年度)	
【参考】総貯水量	6,900m <sup>3</sup>	7,100m <sup>3</sup>	7,200m <sup>3</sup>	8,150m <sup>3</sup>	/	8,150m <sup>3</sup> (21年度)	
【参考】応急給水対応人口	761,000人	783,000人	794,000人	899,000人	/	899,000人 (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 緊急貯水槽は災害時の円滑運用が重要であることから、関係町内会及び協力団体との協働による非常給水体制を構築する活動として、見学会及び現地説明会を実施している。平成22年度では、10施設13回(14連合町内会・3町内会584名、札幌管工事業協同組合79名、札幌市災害時協力員23名の参加)の見学会を開催した。その結果、平成19～22年度までに、26施設40回(43連合町内会・6町内会1,527名、札幌管工事業協同組合307名、札幌市災害時協力員55名の参加)の見学会を開催している。また、常に、町内会単位の現地説明会の申込みを受付けている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>緊急貯水槽は平成21年度までに5箇所、緊急時給水管路は平成21年度までに2箇所を整備が完了している。その結果、貯水量が1,250m<sup>3</sup>増加し、市民約14万人分の飲料水(1人1日3Lを3日分)が確保できる事となった。</p> <p>平成21年度の事業目標達成を受けて、これまで整備した緊急貯水槽・緊急深井戸・緊急時給水管路と合わせ、断水を生じる可能性が高いエリアに居住する市民約90万人分の飲料水が確保され、災害対策の強化に資する事ができた。</p>			/				
今後の事業の予定・方向							
<p>本事業については、平成21年度をもって当初目標を達成する事ができた。 また、札幌市地域防災計画の見直しを踏まえ、緊急貯水槽の設置を新たに進め、応急給水体制の拡充を図る。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-4-2			事業名	緊急貯水槽等整備事業		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	523,000	420,000	176,000	0	1,119,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	34,000	18,000	34,000	0	86,000		
	市の債	77,000	36,000	71,000	0	184,000		
	その他の他	412,000	366,000	71,000	0	849,000		
一般財源	0	0	0	0	0			
予算	事業費	523,000	555,900	377,532	0	1,456,432		
	財源内訳							
	国・道支出金	34,000	18,000	31,000	0	83,000		
	市の債	77,000	42,000	150,000	0	269,000		
	その他の他	412,000	495,900	196,532	0	1,104,432		
一般財源	0	0	0	0	0			
実績	事業費	453,266	563,979	222,289	0	1,239,534		
	財源内訳							
	国・道支出金	34,000	18,000	31,000	0	83,000		
	市の債	57,500	48,000	75,000	0	180,500		
	その他の他	361,766	497,979	116,289	0	976,034		
一般財源	0	0	0	0	0			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					110.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》								
[19年度]								
[20年度] 計画と実績では事業費に差異があるが、事業内容の変更によるものではなく、実施設計に基づいて、計画段階の事業費を精査した結果である。								
[21年度] 計画、予算、実績のそれぞれに差異があるが、事業内容の変更によるものではなく、20年度と同様、事業費の精査に加えて、各時期における材料費(鉄)の価格変動によるものである。								
[22年度]								